

布引だより



令和3年7月16日

No.4



布引小学校ブログもご覧ください→

<http://www2.higashiomi.ed.jp/nunosyo/>

～ 一人ひとりがキラリ輝く布引の子 ～

夏休み間近！

いよいよ、子どもたちにとって楽しい夏休みが始まります。この4月以来、保護者の皆様には、お子様の健やかな成長を支え、本校教育活動にご協力くださりありがとうございました。また布小を育てる会様、学校支援ボランティア様、ス

クールガード様、民生児童委員様、学校評議員様、地域の皆様方にも多大なご理解とご支援をいただいております。厚くお礼申し上げます。子どもたちにも、たくさんの方々の支援があって安心して学校に通っていただけること、いつも感謝の気持ちを忘れてはいけないことを伝えています。

さて1学期、学校目標の、子どもたちが「キラリ輝く」場面を、たくさん見ることができました。キラリとする姿にはいろいろな場面があると思いますが、例えば、好きな学習に没頭している姿、苦手なことにでも頑張っている姿、仲間と力を合わせて協力している姿、他の人に対して優しく接する姿などです。たてわり遠足での下学年への思いやり、運動会での団結、水泳が苦手な子の一生懸命な



姿、読書タイムの全校が静まりかえる時間・・・いろいろな子どもたちの姿が思い浮かびます。

「好きこそものの上手なれ」という言葉があります。好きになったことには没頭できるので自然に上達します。昆虫に興味のある子は昆虫の名前なら何でも知っていますし、料理が得意な子なら大人でもびっくりする料理を作ります。算数が好きな子は中学校の問題でも解きます。歴史が好きな子は、大人も知らないような歴史の裏話を話してくれます。夏休みは、いつもより自由な時間がたくさん



あります。少し力を貸してあげて、子どもが興味を持ったことを好きなだけ探究させてみてはいかがでしょうか。また、「好きこそものの上手なれ」の裏を返せば、好きにさえなれば、面白いと思うことができれば、自然に上達するということです。好きになるきっかけは些細なことです。もし、苦手な教科や嫌いな教科があったとしたら、お家でその教科の面白さを再確認する機会を作ってみてもよいかもしれません。算数なら、生活に密着した問題を



作ってあげて一緒に問題を解いてみる、国語ならゆっくり一緒に読書をし、わからない言葉を説明してあげる、理科や社会科なら博物館に行ってみるなど、ちょっとしたことで子どもの興味が生まれると思います。

文科省が「確かな学力」と言っている「学力」には3つの内容があります。

①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等、③学びに向かう力・人間性等です。小学校ではこの土台となっているものに「学ぶことって楽しい、面白い」

と感じる心があると思います。この気持ちがあれば、学年が上がっても自分で学び続けることができます。学校でも「わくわくする授業」を目指して取り組んでいるところです。「夏休み」という機会にお家でも子どもたちの学びに対する興味や関心を引きつけたり、膨らませたりするきっかけを与えていただけるとありがたいです。

